

【日時】 2021年11月17日(水) 18:00-19:00

【場所】 Zoom オンラインミーティング

【出席者】 [出席表を参照](#)

【目次】 各項目をクリック→「ブックマーク」をクリック

- [前回議事録](#)
- [前回からの検討課題](#)
- [今回での決定事項](#)
- [議事](#)
- [決定事項](#)
- [次回打ち合わせ](#)
- [次回での検討課題](#)

【前回議事録】

- [リンク](#)

【前回からの検討課題・議題】 各項目をクリック→「ブックマーク」をクリック

- 1) [前回議事録の確認 \(兼松\)](#)
- 2) [各大会からの報告](#)
  - 2-1) [第122回大会 \(福田\)](#)
  - 2-2) [第123回大会 \(西尾\)](#)
  - 2-3) [第124回大会 \(川村\)](#)
  - 2-4) [第125回大会 \(阿部\)](#)
  - 2-5) [第126回大会 \(小澤\)](#)
- 4) [プログラム委員会支援分科会 \(中村\)](#)
- 5) [委員会ウェブサイト \(亀澤\)](#)
- 6) [その他](#)

【今回の決定事項】

- XXX

【議事】

- 1) [前回議事録の確認 \(兼松\)](#)
  - 変更なく承認された。
- 2) [各大会からの報告](#)
  - 2-1) [第122回大会 \(福田\)](#)

## 令和3年度第5回大会支援委員会 議事録

- 作成中の報告書を共有
- 全373名（日本121名・韓国252名）、VOD閲覧の日本人は1名のみ
- JRCより100万円予算で、謝金等で85万円相当を韓国側に提供、ヘルプデスク14万円
- 実行委員・座長・プログラム委員へ記念品（3000円のQUOカード）を贈呈予定でリスト作成中
- 2020年より1年延期となり、オンラインのみでの開催となった
- コンベンション会社の収支報告はどうか？（川村）
  - 確認する
- 韓国の学会誌に掲載する話はどうか？（兼松）
  - まだ情報はなく、予定では12月末までにapply・来年秋にpublishで、KSMPより招待

### 2-2) 第123回大会（西尾）

- 演題締切完了、100演題が登録（日本語：38、英語：62）
- プログラム委員会で審査中、11/19に第1回の会議を開催
- 春の大会に合わせて行う第1回ICRPTの演題を検討中（英語は全て収まる想定）
- 英語演題申込でクオリティが低いものがあり演題のリジェクトを検討中（JSRT側は10演題程リジェクト予定との情報あり）
- 全体プログラムの最終版ができ、詳細の検討を進める
- 相談事項：JSRTの学会長（白石先生）よりawardを設ける相談があった
  - 賞金制について、JRC側では別立て予算で了承を得ている
  - Awardは学会に関係なく設定するが、JSMPでは英語演題に限定し整合性が取れない。
  - これまでのaward制度はJSMPで英語に限定したのは英語発表を増やすため（福田）
  - これまで、JRCでは6題のawardをサポート、JSMPとして3題を追加し、金銀銅3題ずつ
  - 事前に抄録等で評価し、高評価の演題のみ開催中に評価を行う
  - ICRPT（英語発表）/ JSMP（日本語発表）でそれぞれawardを設けることで同意を得た
  - ICRPTのawardについては両学会で平等に審査を行う方針とする
- AFOMPのスクールでも広報を行なっているためアジア・オセアニアの申込状況を知りたい（林）
  - 情報を提供する

### 2-3) 第124回大会（川村）

- 準備状況報告書を共有
- 実行委員20名
- コンベンション会社：日本旅行に決定（国際文献との比較の結果）

## 令和3年度第5回大会支援委員会 議事録

- 品質管理講習会・医学物理講習会を9/15に決定
- 会場は長崎ブリックホールの部分貸（3Fフロア：国際会議場＋会議室）
- 特別講演の講師は確定、他は12月中に決定予定、教育講演は2日間で6つ程度の想定
- 発表方式：ティザー方式 ショートプレゼン（2~3分）後にディスカッションに重きをおく
- 企業参加も想定
- 情報交換会は対面の想定で、会場の目の前のホールを予約（立食で最大90名程度）
- 来年4月頃のCOVID-19の感染状況を見て、実地開催かオンラインかを判断
- 大会参加費：8,000円→10,000円に増額の予定（370名での見積）
- ポスター・チラシを作成、実行委員会に相談の上、早めに広報を行いたい
- 理事会は15日の夕方を想定、会場が狭いため各委員会の要望を確認したい
- 発表の英語化を検討したい
  - 秋は英語だと学生発表のストレスが高くなり母国語が望ましい（西尾）
  - 春はinternational、秋はdomesticという流れがあった（小澤）
  - 外国からの招聘は問題ないが、秋で英語にこだわる必要はない（福田）
  - 理事会確認事項は会長名の決裁が必要な内容で、他は大会長の判断で良いのでは（久米）
  - 100万円以上の契約は既に終了しているので、遠慮せず進めて問題ない（水野）
- スライドについては英語作成を統一するのが良いのではないか

### 2-4) 第125回大会（阿部）

- 11/2に合同会議を実施
- JRCテーマ：Be a game changer in medicine and technology
- 11/29に2022役員と共にパシフィコ横浜を下見
- コンベンション会社はJCSの想定（JRC）
- 12月上旬までにコンペ形式でポスターを選定予定
- 合同企画・JRC大会予算等について確認した
- コロナに係る変更点はないか？（兼松）
  - WEBと対面での開催を検討している

### 2-5) 第126回大会（小澤）

- 2023年9月15日～17日、広島県医師会館・HIPRACを予約済み
- コンベンション会社の見積、助成金を調査（決定前が対象）
- 実行委員長・プログラム委員長はどうか？（兼松）

## 令和3年度第5回大会支援委員会 議事録

- 未確定→決定後、支援委員会に参加いただく
- 小澤先生（広島高精度）内諾済み（福田）

### 4) プログラム委員会支援分科会（中村，伊良皆代記）

- JSMP123は100演題があつまり、現在査読中→おおよそ査読は終了、カテゴリ設定中
- 19日にプログラム委員会が開催

### 5) 委員会ウェブサイト（亀澤）→[リンク](#)

- 前回議事録および第125回大会の情報まで掲載済み。（第126回も公開準備済みだが、コンベンション決定後に公開することとなった。）
- 委員会ページは公開完了しているが、JSMP広場への案内を失念しており、早急に行う。

### 6) その他

- 第1回ICRPTの合同委員会について（兼松）
  - 西尾・福田・兼松・斉藤が出席
  - JRC2022は従来通り、今後は内部の独立した大会という扱いで行う
  - 一本化するとすると募集段階から調整が必要なため、磯部先生をお呼びした
  - 費用負担はどうなるか（川村）
    - JRCに含まれる（兼松）
    - RSNAのようにアジアの国際学会にするトリガーとする狙い（西尾）
  - これまではセッションを振り分けていたが、今後は分けてプログラム作成が必要
  - 演題締切やプログラム委員会の時期が異なる点が問題で、運用負荷を軽減する目的（磯部）  
12月頃を目処に同一プラットフォームの体制案を提出する
  - 次回合同会議には阿部先生も出席する
- 128回の日韓合同学会について（福田）
  - 早めに公募を進めたい
  - AOCMPの誘致を検討（バングラディッシュの次はインド）
  - JSMPは3票
- 来年度の事業計画案（兼松）
  - 大会で予算確保ができるため、支援委員会として視察等の予算を外した
  - 他希望・提案があれば
    - 飲食代ではなく会議費用の方が良い（川村）

令和3年度第5回大会支援委員会 議事録

【次回打ち合わせ】

- XXX

【次回の検討課題】

- XXX

【文責】

- 櫻井

【委員】（敬称略，順不同，2021年3月現在）

氏名	所属	連絡先
兼松 伸幸	量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 物理工学部・次長	kanematsu.nobuyuki@qst.go.jp
水野 秀之	量子科学技術研究開発機構QST病院放射線品質 管理室・主幹研究員	mizuno.hideyuki@qst.go.jp
米内 俊祐	量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 物理工学部照射システム開発グループ・グループ リーダー	yonai.shunsuke@qst.go.jp
山本 徹	北海道大学大学院保健科学研究院・特任教授	yamamoto@hs.hokudai.ac.jp
長谷川 智之	北里大学医療衛生学部・教授	hasegawa@kitasato-u.ac.jp
西尾 禎治	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻医療画像 技術科学分野生体物理工学講座医学物理学研究 室・教授	nishio@sahs.med.osaka-u.ac.jp
有村 秀孝	九州大学医学研究院保健学部門医用量子線科学分 野・教授	arimurah@med.kyushu-u.ac.jp
小澤 修一	広島がん高精度放射線治療センター・医学物理士 長	ozawa@hiprac.jp
川村 慎二	帝京大学大学院保健学研究科診療放射線学科・教 授	kawamura@fmt.teikyo-u.ac.jp

令和3年度第5回大会支援委員会 議事録

黒岡 将彦	東京医科大学病院放射線治療部・医学物理士	kurooka.m@gmail.com
亀澤 秀美	帝京大学福岡医療技術学部診療放射線学科・講師	kamezawa@fmt.teikyo-u.ac.jp
林 直樹	藤田医科大学医療科学部放射線学科・准教授	hayashi@fujita-hu.ac.jp
齋藤 秀敏	東京都立大学大学院人間健康科学研究科・教授	saitoh@tmu.ac.jp
蓑原 伸一	神奈川県立がんセンター物理工学科・科長	minoharas@kcch.jp
川内野 友彦	長崎大学病院医療技術部放射線部門・主任診療放射線技師	tomopiko@nagasaki-u.ac.jp
明上山 温	東京都立大学大学院人間健康科学研究科放射線科学域・准教授	atusi@tmu.ac.jp
久米 恭	若狭湾工ネルギー研究センター研究開発部粒子線医療研究室・室長	kkume@werc.or.jp
佐々木 誠	福井県立病院陽子線がん治療センター陽子線治療研究所・研究員	m-sasaki-hl@pref.fukui.lg.jp
納富 昭弘	九州大学大学院医学研究院保健学部門医用量子線科学分野・准教授	nohtomi.akihiro.858@m.kyushu-u.ac.jp
櫻井 勇介	医療法人伯鳳会大阪陽子線クリニック・係長	y.sakurai@hakuho.or.jp
伊良皆 拓	京都大学医学部附属病院放射線治療科・特定助教	iramina@kuhp.kyoto-u.ac.jp
福田 茂一	量子科学技術研究開発機構QST病院放射線品質管理室・室長	fukuda.shigekazu@qst.go.jp
石川 正純	北海道大学大学院保健科学研究院医用生体理工学分野・教授	masayori@med.hokudai.ac.jp
中村 光宏	京都大学人間健康科学系専攻情報理工医療学講座・准教授	m_nkmr@kuhp.kyoto-u.ac.jp
阿部 慎司	茨城県立医療大学大学院・研究科長/教授	abe@ipu.ac.jp
藤崎 達也	茨城県立医療大学保健医療学部放射線技術科学科・教授	hujisaki@ipu.ac.jp

令和3年度第5回大会支援委員会 議事録

乳井 嘉之	東京都立大学健康福祉学部放射線学科・准教授	newyoshi@tmu.ac.jp
-------	-----------------------	--------------------